



■Tackle Guide
 柔らかめの竿で釣ると面白い。オモリを底に着けて動かさずにアタリを待つことが大切。竿先を下に向けている人は、船の揺れで仕掛けがムダに動きやすい。竿を水平に構えれば、竿の弾力で仕掛けのムダな動きを抑えることができる。



▲船宿仕掛けは2組入りで300円

激しい引きを楽しみながら浮かせて取り込んだのは、やはり25センチバーのイシモチ。なかなか乱暴なヤツだ。軟らかい竿を使っているから、メチャクチャ面白い。
 仕掛けを入れれば食ってくる……そんな状態が続いた。一荷釣りも2回ほどあった。25センチ級が2尾掛かると引きも強い。竿は満月になる。ちよっと食いが落ちると船長は船を移動させるが、移動はほんのわずかだ。その付近に相当数のイシモチが群れているのだから。

ここで問題が出てきた。釣れ続けたのはよいが、この調子で釣れ続けたら原稿の書きようがない。釣れなかったレポートと同じくらい、釣れ続けた14時ごろには、そんな悩みを解決してくれそうな状況になってきた。
 潮のせいなのか、ダガンと竿をたたくようなアタリがあっても、それだけでパイバイというケースが出始めた。ま

▼エサが豊富なのだろう、身に厚みがあり体高のある個体が多い



今は南本牧のポイントに固まっているが、金沢漁港周辺にはイシモチが集まる根がいくつもあ。ロングランで釣り続

当日は午後から南西の強風が吹くという予報だった。風が吹くのが遅れていたが、15時前からは強い風に船が押される状態になってきた。船長は船を安定させるよう苦労して操船している。
 でも、道糸が安定して立つ状態ではない。そこで、船下狙いを止めて軽くキャストして探る釣り方に切り替えた。パイトリールだから、そんな

半日イシモチ乗合は、この分だと春先まで安定して楽しめるそう。今南本牧のポイントに固まっているが、金沢漁港周辺にはイシモチが集まる根がいくつもあ。ロングランで釣り続

キャストが奏功
 あ、長いアオイソメを1匹付けしているのでもうなるのも不思議じゃない。
 パイバイしたらすぐに竿先を下げてたまるませ気味で待つと、改めてダン、ダダツとくる。一呼吸置いてジワツと竿を立てるとキュキューンと竿先が入る。このケースは食わせた感があつて釣りとしては面白いよね。

これが正解で、キャストして少し引くとすぐにダツ、ダガンとアタリが出る。1投1尾の連釣モードとなった。船の揺れや流れに左右されないのがプラスだったのかな？
 こんな調子で15時半の沖揚がりを迎えたが、結果は29尾。型がよかつたので内容も満足。トップは右トモ氏で39尾。ほかは28尾、24尾でスソが9尾。皆さん大満足の午後釣りだった。

けられそう。これからが本番なので、冬の釣りの本命タゲットとも言える。
 向こう合わせの釣りなので、ビギナーにもおすすめだ。強い引きを楽しんでたくさんのお土産を持って帰れる短時間乗合は魅力的ですよ。
 刺身、ムニエル、干物と色々楽しんだが……ウマイ！



▲抜き上げたオモリをつかむと取り込みやすい



▲東京湾のイシモチは今冬も順調
 ▼ハリに掛かると荒あらしい引きで抵抗するので釣り味満点

イシモチという魚はほかの釣りをしているに交じってることがあるが、引きも強いし淡泊で上品な身はおいしい。そんなイシモチを専門に狙う乗合船の人数が高まってきた。金沢漁港の進丸では、午前シロギスの船が午後イシモチの船となる。
 午後船の出船時刻は12時半で沖揚がりが15時半だから、釣り場まで船が走る時間を考えると実質約2時間半ほどの釣りだ。
 こうなると「釣り場が近いこと」と「凝縮された中身の濃い釣り」という条件が大切

だが、バッチリ2つの条件を満たしているようだ。そんな午後イシモチ乗合を楽しもうと自宅を10時過ぎに出発した。二度寝をした後ののんびり釣行だ。寒い冬にはありがたいよね。
 11時過ぎに船宿に着いたが、しばらくすると午前ライトアジ乗合、午前シロギス乗合の船が帰港して船着き場は大変な賑わいとなった。進丸のスタッフは面倒見がよいのでビギナーにも人気がある。当日も子供釣りのママとか、ファミリーが目立っていた。
 さて、午後イシモチ乗合に



は僕を含めて5名が乗船。左右のトモ2人は午前ライトアジからリレーしたご夫婦、左ミヨシから2人は女性。僕は右ミヨシに陣取った。
 5名中3名が女性だから、これは昨今の釣り事情そのもの。どこに出かけても女性釣り師を見かけるし、女性ビギナーでもない。女性の手練れ釣り師もうんといる時代だ。

東京湾奥金沢漁港発 ↓ 南本牧沖

竿先をたたたく激しいアタリ

軟調竿でイシモチを楽しむ

いきなり入れ食い

さて定刻に出船した船は、南本牧のとつておきのポイントに向かって20分ほど走り、水深23メートルでスタート。さて……カメラを手にして画撮りを始めようとしたら、右トモで竿が曲がった。1投目の着底直後に食ってきたようだ。



▲湯引きの刺身はうま味が強い

知得! Tips and Tricks
イシモチの刺身は湯引きで
 ウロコを取りやすい魚だが、皮が薄い。三枚におろしたら、皮を引かずに皮面を上にして並べる。そこに、上から熱湯をサッとかける。冷水で冷やしたら、キッチンペーパーで水気を取り、適当な大きさに切る。皮と身の間のうま味も一緒に味わえる。

●船宿information
 東京湾奥金沢漁港
進丸
 ☎080-8042-3303
 (詳細は巻末の情報欄参照)

近藤 博信船長

▶料金=午後イシモチ乗合一人6400円(エサ、水付き)、女性・大学・高校生4600円、中学生以下3100円
 ▶備考=予約乗合、12時半出船。
 ほか午前・午後ライトアジ、午前シロギスへも